

幼児教育の新たな地平を開く「幼児教育コーディネータ」

理論と実践の往還、そして地域連携へ



本講義の学習到達目標



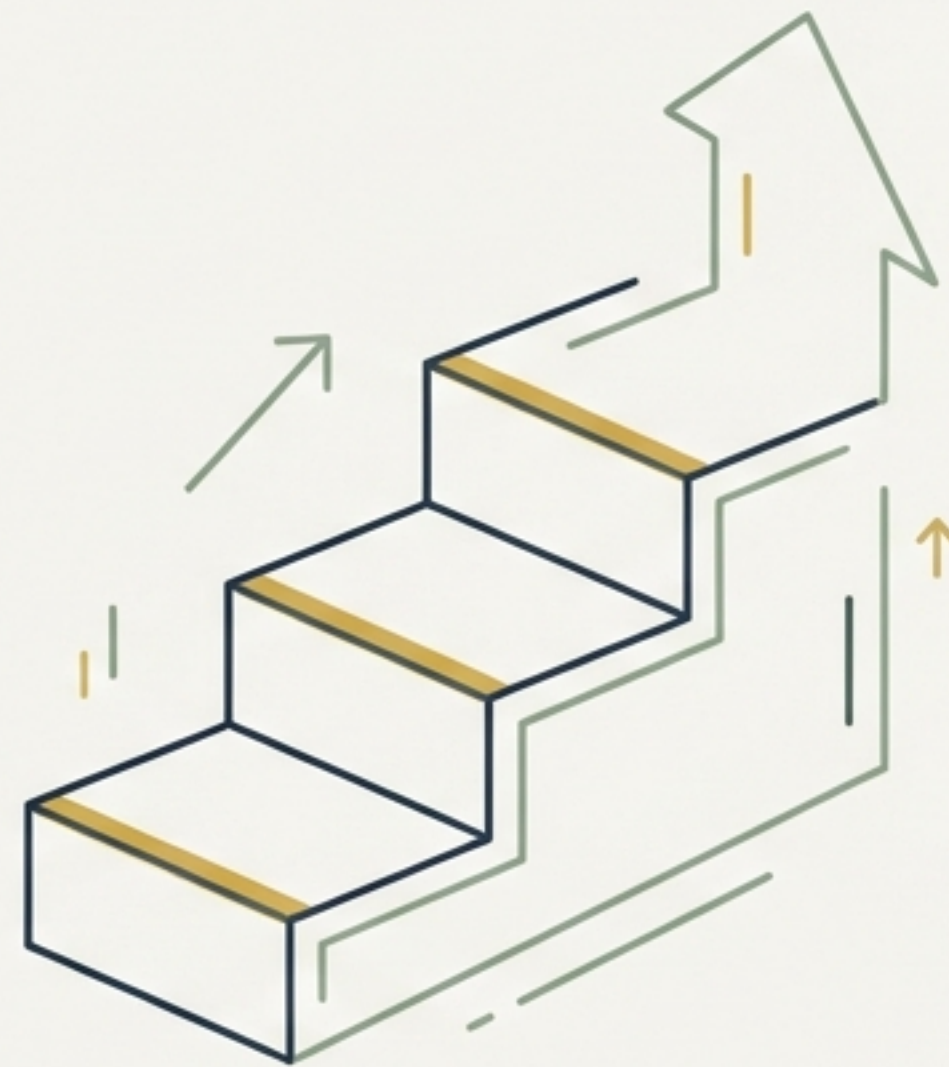
1. 幼児教育コーディネータについて説明できる。



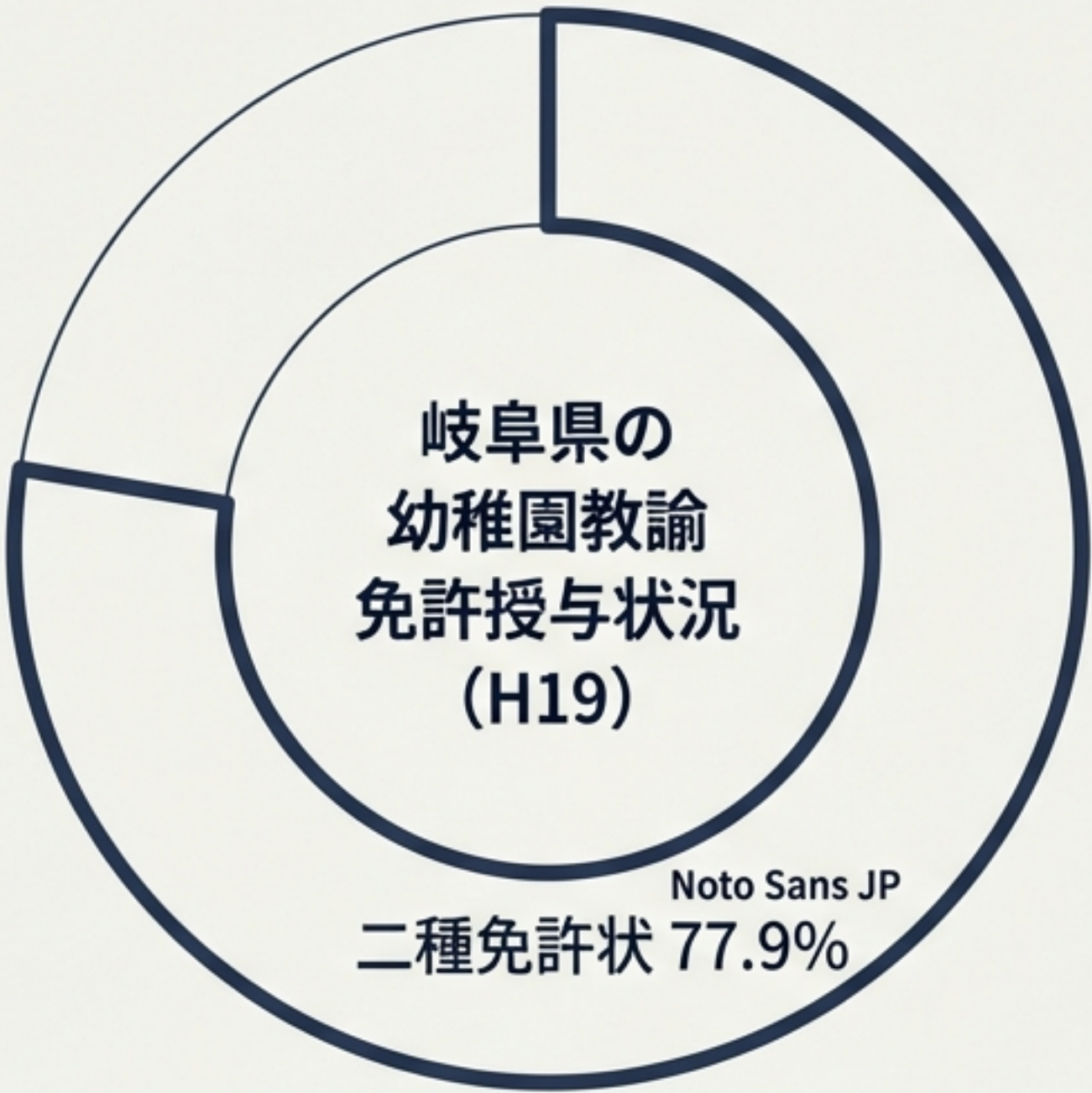
2. 幼児教育コーディネータの活動について具体的に説明できる。



3. 幼児教育コーディネータと幼児教育アドバイザーの違いについて具体例を挙げて説明できる。



なぜ今、変革が必要なのか？：中堅層の課題と社会的背景



中堅層（ミドルリーダー）の停滞

社会・環境の変化 /
ウェルビーイングへの要請



ミドルリーダー



- ✓ 資格の壁：一種免許状
への上進の必要性
- ✓ 理論と実践を往還する
機会の不足

「幼児教育コーディネータ」養成コースの全貌

対象者



在職12年以上のベテラン
管理職・マネジメント層
スキルアップを目指す者

履修証明制度（BP）



文科省認定プログラム
8科目・150時間
試験・レポート必須

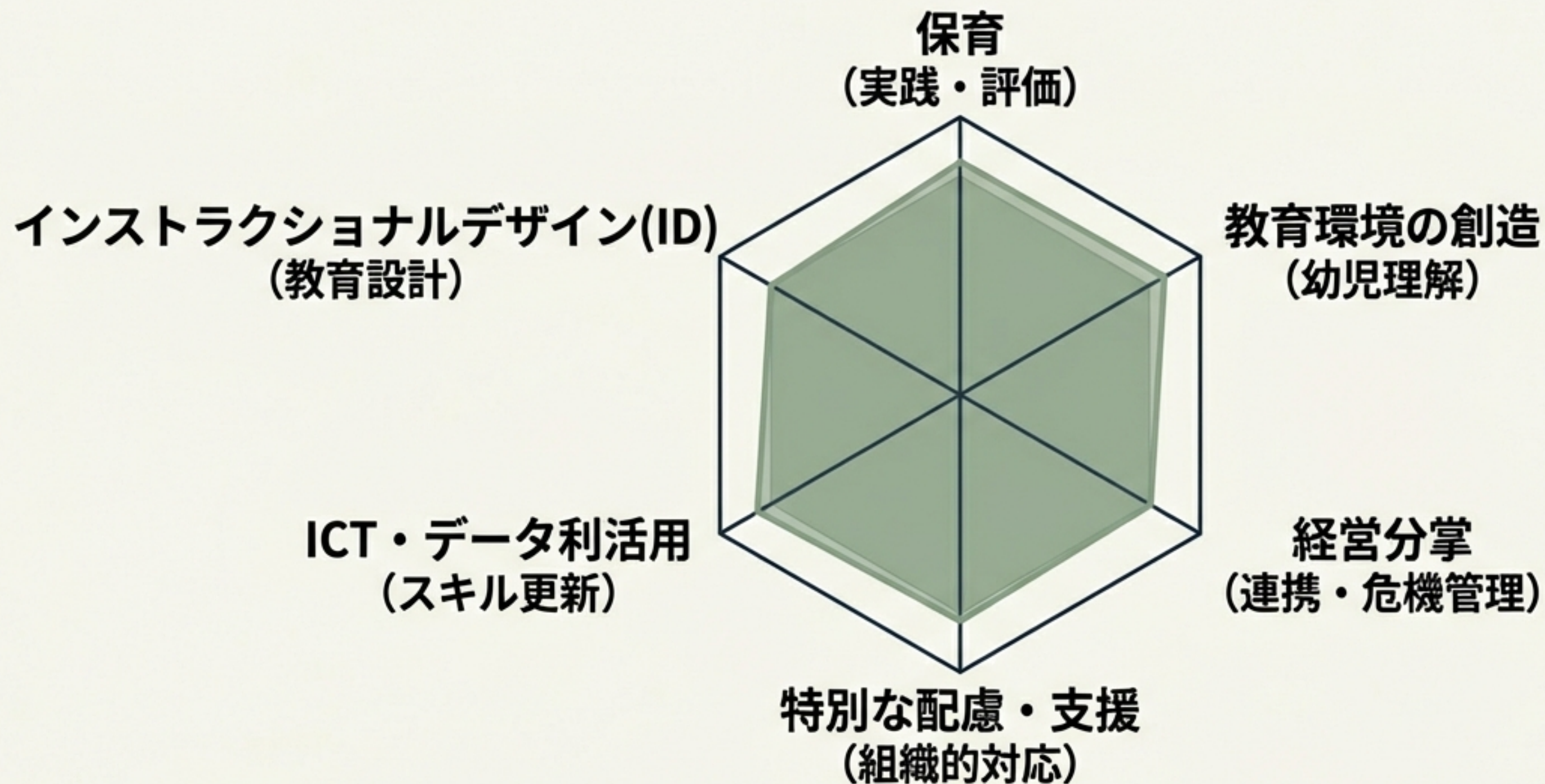
修了・資格上進



幼児教育コーディネータ認定
一種免許状への上進

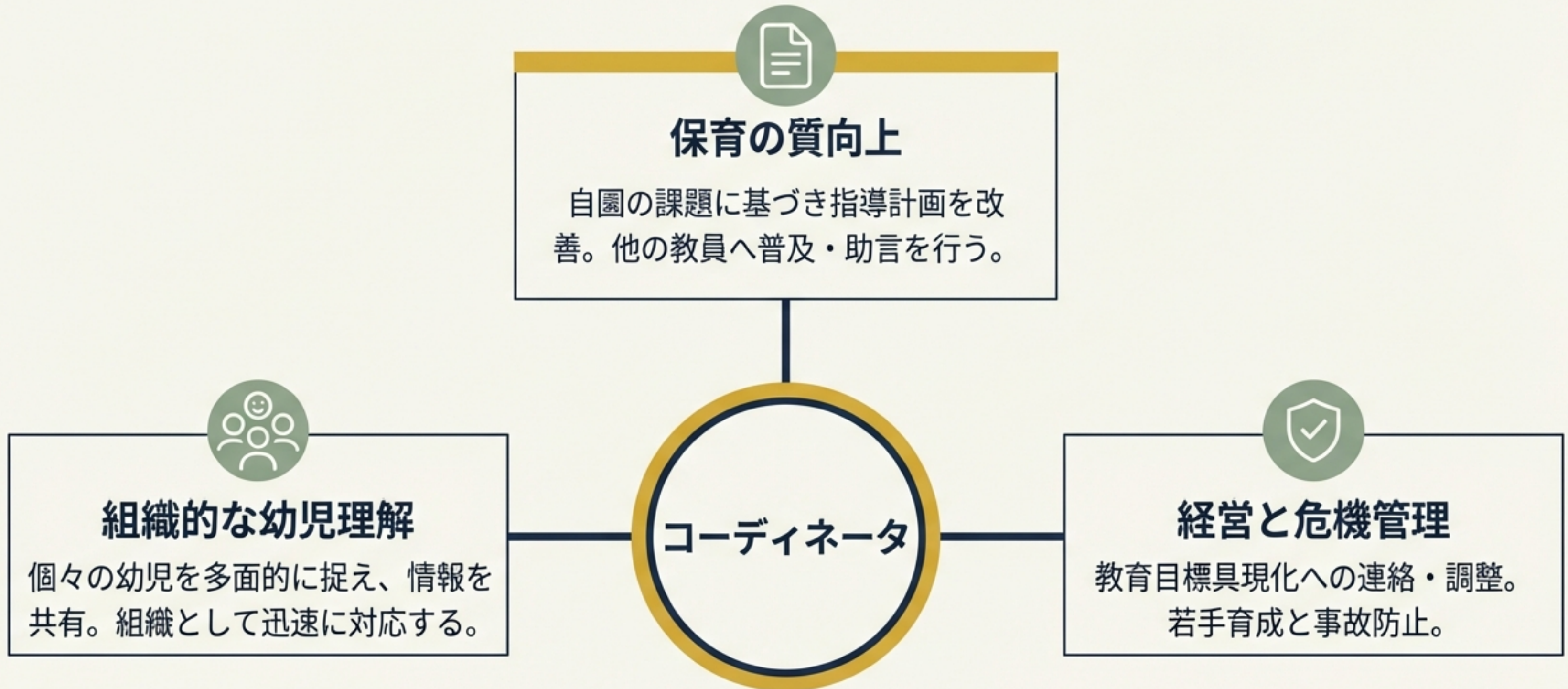
キャリアアップの明確なロードマップ

求められる6つの資質・能力：スキルセットの構造化



岐阜県「教員のキャリアステージ」指標 + 大学独自の視点 (ID・ICT)

実践的指導力：現場を動かすリーダーシップ



現代的課題への対応：特別支援とICT



特別支援（Special Needs）

- ・組織的支援：職員連携による指導体制の構築
- ・継続性：関係機関と連携し、一貫した支援を実現

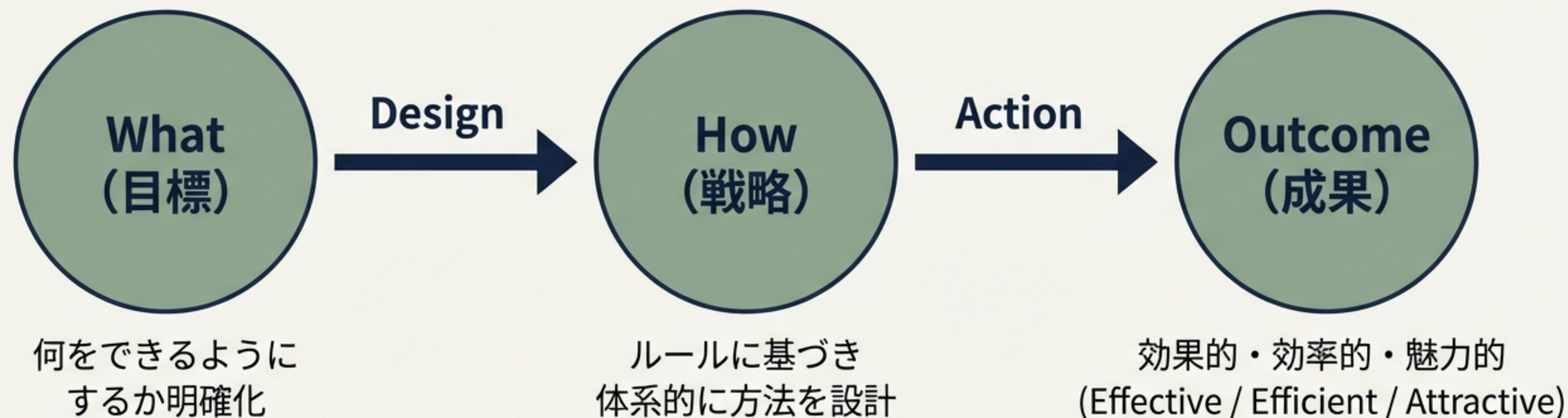


ICT・データ利活用

- ・データ利活用：経験則を超え、データを俯瞰的に捉える
- ・スキル更新：ICT指導力を高め、新たな活用法を提案

【重要概念】 インストラクショナルデザイン（ID） 指導力

感覚的な指導から、エビデンスに基づく設計へ



Key Shift: 学習成果のエビデンスに基づく教育実践（ワークショップ・デジタルアーカイブ活用）

教育哲学の転換：ペダゴジーからアンドラゴジーへ

Pedagogy (子供の教育)



教える技術 (Paid + agogus)
対象：白紙の状態 (Tabula Rasa)

Andragogy (成人学習論)



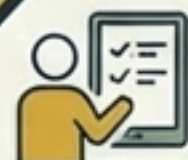
支援する技術 (Knowles提唱)
対象：豊富な経験と固定観念

Adult Learner Traits

- 経験が資源となる
- 思考の癖・固定観念の「解凍」が必要
- プライド（自己否定への恐れ）への配慮

ノールズの4つの方針による研修変革

自己計画・評価
(Self-planning & Evaluation)



経験の活用
(Utilizing Experience)



問題解決志向
(Problem-Solving Orientation)



仕事直結の動機
(Job-relevant Motivation)



自律的な専門家
(Autonomous Professional)



「教えないで学べる研修」へのパラダイムシフト

既存の職能「幼児教育アドバイザー」の現状と課題

東大発達保育実践政策学センター調査に基づく分析

■ 定義（大阪府・文科省）：

研究保育の助言、ファシリテーション、巡回指導を行う者。

■ 課題：

資質・能力の定義が曖昧。
現場からは「資質への不安」の声も。

実施率の比較（Comparison of Implementation Rates）

園内研修への助言

（実施率 高）

家庭・地域への普及 / 情報共有

（実施率 低）

ここが弱点

比較分析：コーディネータ vs アドバイザー

項目 (Item)	幼児教育アドバイザー	幼児教育コーディネータ (Coordinator)
資質・能力	具体的定義なし Noto Serif JP Regular	6領域で構造化・明確化 Noto Sans JP Bold
認定プロセス	選考・研修履歴のみ	150時間受講 + 全科目試験合格 Noto Sans JP Bold
指導アプローチ	助言・ファシリテート	インストラクショナルデザイン (ID) Noto Sans JP Bold
連携範囲	園内中心	家庭・地域・小学校・他施設 Noto Sans JP Bold

幼児教育コーディネーターが目指す未来：接続期の質保障



第2講のまとめ：プロフェッショナルとしての進化



1

ミドルリーダーの覚醒

経験則を超え、理論と実践を往還する高度な専門性を獲得する。



2

科学的アプローチ

IDとアンドラゴジーにより、効果的な指導と成人学習支援を実現する。



3

役割の拡張

園内にとどまらず、地域・家庭・小学校をつなぐハブとなる。

課題 (Assignment)

以下の問いについて、本資料の内容を踏まえて記述しなさい。

1. 幼児教育コーディネータについて説明しなさい。
2. 幼児教育コーディネータの活動について具体的に説明しなさい。
3. 幼児教育コーディネータと幼児教育アドバイザーの違いについて具体例を挙げて説明しなさい。

